



社協だより

No. 137

平成29年7月3日

発行：社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会 〒901-0155 那覇市金城3-5-4 (那覇市総合福祉センター内)
TEL.098-857-7766 FAX.098-857-6052 (e-mail)info@nahasyakyo.org (URL)http://www.nahasyakyo.org

ボランティア活動支援

社協会員募集



ホームページがリニューアルしました。



笑顔あふれる 支え合いのまちなは



緊急医療情報キット
配付事業(安否確認)



福祉体験教育



ふれあいいきいき
サロン(見守り事業)



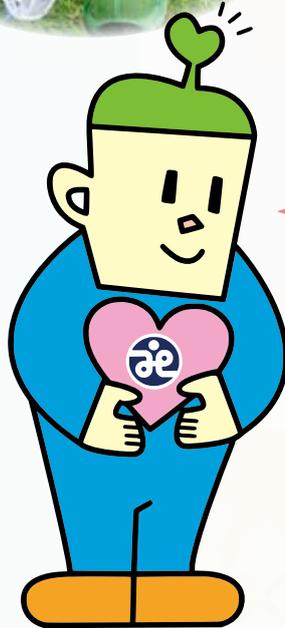
避難訓練
(マップづくり)

社協会費って何に使われているの？

市内各地域の福祉活動に使われています！
例えば……

小地域において住民主体による地域福祉活動・居場所づくりとして『ふれあい・いきいきサロン』の実施・運営費に活用しています！

健康上不安を抱える高齢者及び障がい者等に対し、かかりつけ医療機関情報、持病等、緊急時に必要な情報を保管する『緊急医療情報キット』を配付し、緊急時および災害時に迅速に対応できるようにしています！



みまもりたいごうくん

はいさい！

僕は「みまもりたいぞう」といいます。

僕は那覇市内の地域における見守り体制を推進しています！地域での孤立を減らし、那覇市に住む人々が“思いやりの気持ち”を大事に育ていけるように支援をしていきます！

みなさま、ゆたさるぐとぅうにげーさびら！

もくじ

- ◆ 社協会員募集 1
- ◆ 平成28年度 那覇市社会福祉協議会 事業報告並びに決算 .. 2~3
- ◆ 平成29年度 那覇市社会福祉協議会 事業計画及び予算 4
- ◆ ボランティアセンターだより 5
- ◆ 第30期那覇市社会福祉協議会理事・評議員会・幹事・顧問... 6
- ◆ コーディネーター訪問・相談支援事業のご紹介 .. 7
- ◆ 社協のひろば 8

1. 組織の基盤整備

- (1) 会務の運営
 - ①理事会 (4回)・評議員会 (3回)
 - ②三役会議等開催 (三役会議 21回、業務調整会議 5回、事業・企画検討会議 49回)
- (2) 会員の拡充強化
 - ①正・賛助会員の加入拡大 (8,854件)
- (3) 福祉活動の財源の確保
 - ①赤い羽根共同募金 (22,878,608円)
 - ②歳末助け合い募金 (11,251,108円)
 - ③チャリティー事業等の推進 (1,980,846円)
 - ④卓上募金活動の推進
 - ⑤自動販売機の設置
 - ⑥不要入れ歯回収ボックスの設置
- (4) 事務局体制の基盤整備、①安全衛生委員会 (7回)
- (5) 研修の推進
 - ①役職員研修会の開催 (6回)
 - ②各種研修会への参加派遣 (11回)
- (6) 那覇市地域福祉活動計画評価推進委員会 (開催なし)
- (7) 福祉サービス苦情解決機能強化 (第三者委員会 1回開催)
- (8) 各種規程・規則等の整備 (6件)
- (9) 定期監査 (1回)
- (10) 正規職員採用試験 (3名採用)

2. 地域福祉活動の推進

- (1) 抜け漏れのない実態把握事業
 - ・民生委員・児童委員活動の支援 (毎月定例会への参加)
- (2) 生活課題検討・調整事業
 - ・地域見守り支援ネットワーク活動の推進 (見守り隊設置 11箇所)
 - ・見守り会議の開催 (33カ所)
 - ・那覇市総合防災訓練への参加 (1回)
 - ・小学校校区コミュニティ協議会等への参画 (与儀、石嶺小学校コミュニティ協議会)
- (3) 住民組織活動の支援
- (4) 抜け漏れのない支援実施事業
 - ・緊急医療情報キット配布事業 (442世帯、570名、総配布件数1469件)
 - ・見守り訪問ティッシュ配布安否確認支援事業 (683世帯)
 - ・地域見守り・交流事業 (16回)
 - ・ふれあい・いきいきサロン事業 (2カ所開設)
- (5) 地域支援活性化事業
 - ・地区コーディネーターの配置 (リーダー4名、地区コーディネーター3名)
 - ・住民懇談会の推進 (四者会議 3回開催、単位民児協懇談会16回開催)
- (6) 住民参加型まちづくり普及啓発事業
 - ・研修会の開催 (那覇市子どもの居場所づくり円卓会議) 1回
 - ・福祉協力員養成事業の推進 (8回開催、参加者189名)
 - ・生活支援組織の立ち上げ (那覇市第1層協議体への参加3回)
- (7) 地域ふれあいデイサービス事業の実施 (市受託) (新規2箇所開所、124箇所 延べ参加者 55,685人)
- (8) 生活支援コーディネーター(生活支援・課以後予防体制整備事業)
 - ・第2層生活支援コーディネーターと合同連絡会 (4回)
 - ・健康生活支援講習支援員養成講習 (2回)
 - ・第1回訪問型サービスA従事者養成研修 (1回)
 - ・第1回生活支援サポーター養成講座 (1回)
 - ・第1層、第2層協議体運営に関する業務 (第1層協議会4回、第2層協議会11回)
 - ・第1層、第2層生活支援コーディネーター基盤づくり研修会 (4回)

3. ボランティア活動・福祉教育の推進

- (1) 啓発広報活動の推進
 - ①ボランティア啓発活動事業の推進・ボランティア養成講

- 座への講師派遣及び企画協力 (3回、13名)
- ②那覇市社協ボランティア・市民活動センター情報誌の発行 (12回発行、80000部)
- ③ボランティアBOX事業 (収集ボランティア) の推進 (25個 換金額 136,631円)
- (2) ボランティアコーディネート活動の推進
 - ①ボランティアコーディネート活動の需給調整 (個人新規登録 74人、団体登録 54団体、コーディネート 1,706件 18,293人)
 - ②歳末おそうじ隊事業の実施 (対象 22件 支援機関 12機関 ボランティア 107人)
 - ③紙オムツプレゼント事業の実施 (24人へ贈呈)
- (3) ボランティア養成及び研修事業の推進
 - ①ボランティア養成講座の開催 (おそうじボランティア教室等 2回開催 研修会への参加 4回)
- (4) ボランティア活動支援
 - ①ボランティアグループ活動支援助成 (7団体 120,000円)
 - ②ボランティア活動関係機関連絡会の開催 (8団体参加)
 - ③ボランティア保険の加入促進 (加入 218件 13,313人 事故処理 5件)
 - ④ボランティアサロンの管理運営 (サロン 77件 1328人 まわし 462件 7,627人)
 - ⑤那覇市社協ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催 (1回)
- (5) ボランティア活動・福祉教育の支援
 - ①那覇市学校ボランティア学習推進協議会活動の支援助成及び事務局運営
 - ・定例役員会 4回、・総会 1回、・助成 5校 95,905円、
 - ・共同募金街頭募金活動への参加、赤い羽根募金 16校 470,358、歳末 14校 419,026 活動実践者表彰 10名、5団体、お掃除隊 9名、学校 47校福祉用具貸出事業として (車イス 139台、アイスク・白杖 504個、点字版テキスト 71冊、高齢者模擬体験 35セット等)
 - ②福祉教育・福祉体験学習活動の支援 (13校 18回実施) 福祉教育研修会等実施
- (6) 災害救援ボランティア活動の推進
 - ①那覇市総合防災訓練への参加 (1回、40名)
- (7) 企業の社会貢献活動の推進 (ボランティアBOX 事業贈呈式 10件、リフォーム 1件、清掃活動 1件、)
- (8) 第6回うるく童まつり「まじゅんあしばな」の開催 (2日間、参加者 7,742人)

4. 広報活動の推進

- (1) 社協会報「社協だより」の発行 (1回 10,000部 4回発行)
- (2) 第40回那覇市社会福祉大会の開催 (市補助) (感謝 5件・表彰 48件 参加者 403人)
- (3) インターネットホームページの運用 (URL <http://www.nahasyakyo.org>) バナー広告協力企業 (5件)
- (4) 移動広報車の活動推進・軽トラックの購入事業
- (5) 「沖縄県かりゆし長寿大学校」の推薦協力 (5名推薦)

5. 福祉関係団体活動の支援助成

- (1) 福祉関係団体等活動の支援助成 (赤い羽根共同募金助成 70件 6,640,514円)
 - ・歳末たすけあい募金助成 (86件 2,090,000円)
- (2) 福祉関係団体連絡会の開催 (共同募金助成団体連絡会、単位民児協定例会、障がい者関係団体、那覇市身協事業への参加協力)
- (3) 相談支援事業関係事業者連絡会への参画
- (4) 介護保険事業関係事業所連絡会への参画
 - ・訪問介護ネットワークなは研修会 3回)
 - ・通所介護ネットワークなは研修会 3回、交流会 1回

6. ふれあいのまちづくり事業の推進

- (1) ふれあい福祉相談事業の運営、
 - ①専任相談員の配置 1名、相談員 5名 (相談件数 510件)
 - ②専門相談員 (司法書士) 6名
 - ③緊急医療情報キット広報活動 (6回) 同キット更新確認作業 (618件)

7. 貸付等援護活動の推進

- (1) 活福祉資金貸付事業の実施 (県社協受託) (相談件数 16,846件)
 - ①生活福祉資金貸付 (130件、貸付金額 24,543,815円)
- (2) 助け合い金庫貸付事業の実施 (償還額 15,000円)
- (3) 法外援護活動の実施 (51件、物品 240個、フードバンク活用 6件)
 - ①フードドライブ (寄贈個数 3,163件、食料提供 448件)
- (4) 重度心身障害者医療費等貸付事業の実施 (市補助) (567箇所延べ 67,238件、) 貸付医療費総額 440,999,918円

8. 権利擁護支援事業の推進

- (1) 日常生活自立支援事業の推進 (県社協受託)
 - ・福祉サービス利用支援・日常的金銭管理、書類等預かりの実施 (98件)
 相談援助件数：4803件・利用者件数：98件・新規契約数 10件・解約数：9件
- (2) 生活保護世帯金銭管理支援事業の推進 (市受託)
 - ・福祉サービス利用支援・日常的金銭管理、書類等預かりの実施 (相談支援 5,066件)
 利用者件数：77件・新規契約数：19件・解約数 9件
- (3) 法人後見事業の実施 (支援活動件数：344件・受任件数 8件)

9. 障がい者相談支援事業の推進

- (1) 那覇市障がい者相談支援事業 (市受託)
 - ①障がい者総合相談の実施 (支援件数 1,667人)
 - ②ピアサポーターによる相談援助の実施
 - ③那覇市障がい者居住サポート事業の実施
 - ④那覇市障がい者自立支援協議会への参画
 - ⑤相談支援機能強化事業の実施
- (2) 一般相談支援事業 (相談なし)
- (3) 特定相談支援事業 (新規及び更新契約 226件、モニタリング件数 755件)
- (4) 障害児相談支援事業 (新規及び更新契約 121件 モニタリング 221件)

10. 子育て支援事業の推進

- (1) 子育てサロン活動の支援 (5件)
- (2) 那覇市認可外保育施設への専門講師派遣事業の実施 (市受託) (74園、延べ実施回数 293件)
- (3) 育児支援家庭訪問事業の実施 (市受託) (利用者 237人 派遣件数 1,455件)
- (4) ファミリーサポートセンター事業の実施 (市受託) (会員数 2,927人 延べ利用件数 8,686件)
- (5) 病児・緊急対応強化事業 (延べ利用件数 601件)
- (6) ひとり親等の利用支援事業の実施 (新規市受託、サポート券利用枚数 599枚)
- (7) 那覇市つどいの広場事業の実施 (市受託) (3箇所金城、識名、小禄児童館)
- (8) 保育活動教材貸出事業の実施 (48園、貸出物品 140点)
- (9) 子どもの支援団体等へのサポート事業 (連絡会の開催 4回、研修会 1回)

11. 在宅福祉サービス活動の推進

- (1) リフト付きバス運行事業の実施 (市受託) (2,539件)

12. 介護サービス事業の推進

- (1) 介護保険居宅介護支援事業所の経営 (予防 314件 介護 1,327件)

- (2) 介護保険指定通所介護事業の経営
 - ①デイサービスあしびなー (通所介護) (延べ利用者数,人)
- (3) 介護保険指定訪問介護事業の経営
 - ①ホームヘルプステーションわかば (訪問介護) (述べ利用者 9,196人)
- (4) 障がい福祉サービス事業所の経営 (延べ利用者 27,919人)
- (5) 移動支援事業の実施 (市受託)
- (6) 一般旅客運送事業 (福祉有償移送事業) の実施 (1,332件)
- (7) 介護保険・障がい福祉サービス制度外サービスの実施 (96件)
- (8) 介護保険・障害福祉サービス事業経営検討会議の開催 (10回開催)
- (9) 安全管理委員会の運営
- (10) 同行援護従事者養成研修事業 (受講修了者 31名)
- (11) 通所介護・訪問介護ネットワーク那覇事務局

13. 那覇市総合福祉センターの指定管理運営

- (1) 総合福祉センターの管理運営 (延べ利用者数 102,478人)
- (2) 金城老人憩の家の指定管理運営 (延べ利用者数 28,554人)
- (3) 金城児童館の管理運営 (延べ利用者数 42,687人)
- (4) ボランティア室の管理運営 (延べ利用者数 8,798人)

14. 那覇市老人福祉センター及び老人憩の家の指定管理運営

- (1) 那覇市識名老人福祉センターの指定管理運営 (延べ利用者数 37,028)
 - ①教室、講座の開催と同好会活動の支援 (9講座・19同好会、)
 - ②地域防災見守り活動 (18回 延べ人数 155人)
 - ③実習生受入 (111人)
 - ④識名地域福祉まつり参加者 (2日間 2,694人)
- (2) 那覇市小禄老人福祉センターの指定管理運営 (延べ利用者数 26,154人)
 - ①教室、講座の開催と同好会活動の支援 (11講座・23同好会)
 - ②地域防災見守り活動 (15回 延べ人数 78人)
 - ③実習生受入 (89人)
 - ④うるく地域ふれあい祭り参加者 (2日間 1,467人)
- (3) 那覇市金城老人憩の家の指定管理運営 (再掲) (延べ利用者数 28,554人)
 - ①教室、講座の開催と同好会活動の支援 (9講座・20同好会)
 - ②地域防災見守り活動 (44回 延べ人数 61人)
 - ③実習生受入 (60人)
 - ④金城地域福祉まつり参加者 (900人)

15. 那覇市児童館の指定管理運営

- (1) 那覇市識名児童館の指定管理運営 (延べ利用者数 29,696人)
 - ①児童館だよりの発行 (1回 2,400部 12回発行)
 - ②行事・活動件数 (52件)
- (2) 那覇市小禄児童館の指定管理運営 (延べ利用者数 25,901人)
 - ①児童館だよりの発行 (1回 2,800部 12回発行)
 - ②行事・活動件数 (94件)
- (3) 那覇市金城児童館の指定管理運営 (再掲) (延べ利用者数 45,730人)
 - ①児童館だよりの発行 (1回 2,000部 12回発行)
 - ②行事・活動件数 (51件)

16. 沖縄県共同募金会那覇市共同募金委員会の運営

- (1) 赤い羽根共同募金運動の推進 (22,878,608円)
- (2) 歳末助け合い運動の推進 (11,251,108円)

17. その他の事業

- (1) 南部地区社会福祉協議会連絡協議会への参画 (27回)
 - ・熊本地震に伴う応援職員派遣 (2名)
- (2) マイクロバス運行事業の実施 (137件)
- (3) 物品等貸し出し事業の実施 (55件)
- (4) 社会福祉士援助実習生の受け入れ (9人)
- (5) 実習生・インターシップ等の受け入れ
 - ・介護福祉士実習の受け入れ (20人)

平成 28 年度決算

(単位：円)

事業活動収支計算書	
サービス活動収益計 ①	626,214,659
サービス活動費用計 ②	627,935,144
サービス活動増減差額 ③=①-②	△ 1,720,485
サービス活動外収益計 ④	1,568,567
サービス活動外費用計 ⑤	2,194,887
サービス活動外増減差額 ⑥=④-⑤	△ 626,320
経常増減差額 ⑦=③+⑥	△ 2,346,805
特別収益計 ⑧	0
特別費用計 ⑨	△ 10,704
特別増減差額 ⑩=⑧-⑨	10,704
当期活動増減差額 ⑪=⑦+⑩	△ 2,336,101
前期繰越活動増減差額 ⑫	51,039,842
当期末繰越活動増減差額 ⑬=⑪+⑫	48,703,741
基本金取崩額 ⑭	0
基本金組入額 ⑮	0
その他の積立金取崩額 ⑯	1,330,000
その他の積立金積立額 ⑰	2,888,243
次期繰越活動増減差額⑱=⑬+⑭-⑮+⑯-⑰	47,145,498

財産目録			
流動資産	112,643,439	流動負債	73,887,439
固定資産	359,298,238	固定負債	94,469,800
資産合計	471,941,677	負債合計	168,357,239
		純資産	303,584,438

資金収支計算書	
事業活動収入計 ①	627,805,226
事業活動支出計 ②	631,283,087
事業活動収支差額③=①-②	△ 3,477,861
施設整備等支出計 ④	0
施設整備等支出 ⑤	2,566,034
施設整備等収支差額⑥=④-⑤	△ 2,566,034
その他の活動収入計 ⑦	14,784,840
その他の活動支出計 ⑧	10,143,530
その他の活動収支差額⑨=⑦-⑧	4,641,310
当期資金収支差額合計⑩=③+⑥+⑨	△ 1,402,585
前期末支払資金残高 ⑪	50,792,080
当期末支払資金残高 ⑩+⑪	49,389,495

貸借対照表			
借方		貸方	
流動資産	112,643,439	流動負債	73,887,439
固定資産	359,298,238	固定負債	94,469,800
		基本金	3,000,000
		国庫補助金等特別積立金	74,078
		その他積立金	253,364,862
		次期繰越活動収支差額	47,145,498
計	471,941,677	計	471,941,677

平成 29 年度那覇市社会福祉協議会事業計画（要点）

1. 安心安全で安否確認を推進する地域生活支援体制の確立

1) 地域福祉計画及び地域福祉活動計画の中間評価

今年度は第3次地域福祉計画及び地域福祉活動計画（平成26年度から平成30年度）の中間評価と第4次地域福祉計画及び第2次地域福祉活動計画の策定作業を始める。

2) 地域福祉活動の推進（認知症対策推進と民児協との更なる連携強化）

那覇市より委託され4年目に入る安心生活創造推進事業は、市の協働のまちづくりの方針に基づき、引き続き民生委員児童委員、自治会、行政、社協の代表者が一体となった四者会議を年3回開催する。自治会単位等における地域見守り隊の結成、福祉協力員の養成、居場所づくりを通して、**社会的孤立防止運動**として住民同士の支えあい活動の充実強化に取り組む。

3) 生活支援体制整備事業の推進（生活支援コーディネーターの配置）

生活支援コーディネーターを4名配置し、地区コーディネーター・ボランティアコーディネーターと連携し、地域の実情に即した地域福祉を推進する。

今年度は、訪問介護Bの利用者の掘り起こしと担い手の人材育成と派遣調整を地道に行いつつ、那覇市全域に新たな住民参加の支えあいの輪の構築の一步を踏み出していく。また、訪問介護事業所での訪問介護Aを本法人の事業所わかばをモデルに各事業にも広げる契機とし、サービスの拡充に努めていきたい。

4) 総合相談体制の確立

ふれあいのまちづくり事業では、本年度からは、相談室も地区（東地区と西地区）に担当を配置し地区コーディネーターと連携を重視し、狭間におかれている問題・課題・深刻化する緊急課題を抜け漏れなくニーズを拾い、アウトリーチの必要なケースは地区コーディネーターや、本会内での事業担当者を始め、関係機関と協働・連携して解決に導く新たな総合相談支援体制の構築を図る。

障がい者生活支援センターゆいゆいでは、本年度から市が委託相談の平準化を計ることを理由にゆいゆいは、引き続き、委託相談事業の指定を3年間受託する。

本年度は、成年後見制度利用促進法施行の状況の下、事業で蓄積してきた実績と今後の適切な運営のあり方を示す必要があり、本事業に関する委員会の開催を予定している。

5) 生活困窮者自立支援制度の対応と低所得者等への支援

ふれあい福祉相談室の体制強化として4名の担当者をふれあい福祉相談室の兼務体制とし、地区担当制（東と西ブロック）に配置し、リーダ職を東と西に配置し、同法に関係する機関との連携を深め、自立支援に向けた適切な運用と事業の充実強化に努める。引き続きパーソナルサポートセンターとの連携を強化し貸付から償還までの相談を一連の業務とした寄り添い支援を試みる。

6) ボランティア市民活動センターの支援体制の強化

ボランティアコーディネーターの体制強化を図り2名体制とした、こどもの居場所づくりや生活支援コーディネーターと連携し、地域住民、福祉以外の分野に関わる団体や企業など幅広い活動につなげていくために、ボランティアを通じたまちづくりのためのプラットフォーム（土台づくり）となる新たなまちづくりボランティアセンター（仮称）の構築を目指すことを目標に体制を強化し取り組んでいく

7) 災害時における支援体制の構築

本年度は、**昨年出来なかった地域見守り隊地域を想定した災害ボランティアセンター設置訓練を実施する。**本会としては県内において日常化している台風発生や沖縄全島に誘発する地震に対して、「那覇市災害ボランティアセンター設置運営マニュアル」に沿って、災害ボランティアに対する住民への啓発を強化するなど、多様な活動の推進に努める。

8) 子どもの貧困対策における支援体制の整備

平成28年10月より保護管理課より受託した「子どもの支援団体等へのサポート事業」とおして、子ども食堂や学習支援を行っている。地域の関係団体との連絡会を開催することで、開かれた子どもの居場所を拠点とする地域づくりを目指していく。

2. 社協組織の基盤強化

1) 財源確保（自助・共助・公助）協働のまちづくりを理念に！

本年度は法人設立50周年の節目でもあり、財源確保における有識者（理事・評議員）専門委員会を開催し、これまで共助においては、民生委員児童委員・自治会・企業等々の各界各層の多くの協力者の参加と理解により募金・チャリティ【芸能・ゴルフ】・会費拡大運動を進めてきた部分の課題を分析し、研究協議を図りながら対応策に取り組んでいく。

2) 人材育成と人材確保 (研修体系の確立と組織の基盤強化)

複雑多様な社会福祉ニーズに対応していくことが求められており、社協職員の専門性や資質の向上が求められている中で、社協という組織に属する職員として目標や課題を共有化は大切なことである。初任者、中堅、管理職等本会のミッション達成に向けた研修体系の整備実施を図る。

3) 法人設立 50 周年記念事業の実施 (推移委員会の設置)

7 月 2 2 日を持って法人設立 50 周年を迎える。記念誌の発行、社会福祉大会での特別表彰、記念祝賀会の開催や各事業における冠事業を理事や評議員と推進委員会を設置して一致団結して取り組む。

3. 介護サービスの安定的な経営体制と地域福祉ニーズの視点に立った経営体制構築

1) 介護保険事業等の安定的な経営と財政基盤の充実

4 月から、『介護予防・日常生活支援総合事業』がスタートした。利用者の個々の状態に合わせた多様な生活支援サービスが提供できるよう、利用者の介護予防に取り組んでいく。また、認知症高齢者や医療ニーズの高い利用者へより専門的な支援体制の構築に向けて、本法人の特性、特徴を活かした抜本的な体制の見直し強化も視野に入れた経営基盤の安定化を目指していく。

4. 総合福祉センター、指定管理施設の施設機能を活用した地域福祉活動の推進

1) 総合福祉センター指定管理の適切な受託に向けた取り組みについて

那覇市保健センターと保健・福祉のネットワーク (保健・福祉ゾーン) を形成している同センターは、各福祉団体の機能の充実強化、福祉ボランティアの育成強化を図り、社会福祉センターと母子寡婦活動の拠点とした母子福祉センターを融合し、併せて地域の福祉施設としての老人憩の家・児童館の機能を併設し、子どもから高齢者までの (世代間・地域間・障がい者と健常者) 交流を行う場として、地域福祉活動の拠点となる施設として市民福祉の増進を図る。

2) 小緑・識名 (老人福祉センター、児童館) の指定管理運営
総合福祉センターと同様に地域福祉を推進していく拠点施設として担い、市民福祉の向上を図る。

平成 29 年度那覇市社会福祉協議会 予算

収入の部

	勘定科目(大)	平成29年度予算額(円)	構成率%
1	会費	7,000,000	1.0%
2	寄付金	7,500,000	1.0%
3	共同募金	16,050,000	2.2%
4	市補助金	44,841,000	6.2%
5	市受託金	265,004,000	36.9%
6	県受託金	24,519,000	3.4%
7	介護保険・障害福祉サービス	272,606,000	37.9%
8	事業収入・雑収入・利息収入・その他収入	11,723,000	1.6%
9	拠点区分間繰入金収入・基金・繰越金等	70,212,000	9.8%
	合計	719,455,000	100.0%

支出の部

	勘定科目(大)	平成29年度予算額(円)	構成率%
1	人件費支出	508,527,000	70.7%
2	事務費支出	25,275,000	3.5%
3	事業費支出・固定資産支出	133,616,000	18.5%
4	貸付事業・分担金・助成金・負担金・借入金利息	12,062,000	1.7%
5	拠点区分間繰入金支出	25,128,000	3.5%
6	積立預金積立	500,000	0.1%
7	その他の支出・予備費	14,347,000	2.0%
	合計	719,455,000	100.0%

ボランティア募集

☎098-857-7766



ボランティアを希望する方は、ボランティア登録と活動保険加入手続きが必要となります。

【情報の見方】

- ①活動内容 ②日時 ③場所 ④駐車場
⑤人数 ⑥条件 ⑦備考

1 おりがみボランティア募集

那覇市三原にある高齢者のデイサービスセンターにて、おりがみを使った作品づくりを一緒におこなって下さる方を募集しています。

- ①おりがみを使った作品づくり
- ②月に1度 (火曜希望)
- ③那覇市三原
- ④あり
- ⑦1回1時間程度でお願いします

収集ボランティア (ボランティアBOX)

那覇市ボランティア・市民活動センターでは、書き損じハガキや使用済み切手を集める「収集ボランティア」を推進しています。これらを換金して紙オムツ券に替え、在宅の障がいを持つ方へプレゼントをしています。年齢を問わずに誰でも活動できますので、ぜひご協力とご提供をお願い致します。回収については、各公共機関や施設、那覇市役所本庁舎及び各支所、イオン那覇店、沖縄都市モノレール駅に「ボランティアBOX」を設置しているので、そこに投かんしていただくか那覇市ボランティア・市民活動センターへ直接お持ちください。



《集めているもの》

- ①使用済み切手(切手ははがさず、1 cm 枠をとる)
- ②書き損じハガキ・未使用ハガキ
- ③プリペイドカード(主に交通カード、テレカ)

ボランティアBOX (6月受付団体)

1	久田クリニック
2	石川外科クリニック
3	金城電気工事 株式会社
4	那覇市役所 首里支所
5	上山中学校

(順不同)

【問い合わせ】

那覇市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター
(那覇市総合福祉センター内 2 階)
〒901-0155 那覇市金城 3-5-4 TEL098-857-7766

会 長 挨 拶



社会福祉法人那覇市社会福祉協議会
会長 新本 博 司

平成29年6月16日付けをもちまして、那覇市社会福祉協議会第10代会長に就任致しました。地域社会が大きく変化する中で、地域や人が繋がり支え合いのある地域づくりの大切さが、改めて問い直されている中でその実現に向けて私共に寄せられる期待は大きくその果たす役割は極めて重要であると認識致しております。市民の多様なニーズにお応えすべく、福祉の担い手として、役職員一丸となって最善の努力をいたします所存でございます。

皆様方のご指導ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶と致します。



副会長
玉井 栄良



副会長
長嶺 美佐子



副会長
張本 ユリ子



常務理事
宮城 哲哉

第30期那覇市社会福祉協議会理事・評議員・監事・顧問改選される。

先だつての5月31日、6月16日に開かれた理事会・評議員会にて改選が下記のとおりありました。

第30期理事名簿

任期:平成29年6月16日～平成31年度定時評議員会の終結の時まで

平成29年7月1日現在

	氏名	団体名	役職名
1	新城 ヒロ子	那覇市民生委員児童委員連合会	会長
2	長嶺 達也	那覇市福祉部	部長
3	上原 清	那覇地区老人クラブ連合会	会長
4	當間 勇	那覇市自治会長会連合会	会長
5	末吉 常邦	一般社団法人那覇市医師会	事務局長
6	張本 ユリ子	那覇商工会議所女性会	顧問
7	安里 昌利	一般社団法人沖縄県経営者協会	会長
8	島袋 武	沖縄県中小企業団体中央会	副会長
9	新本 博司	(株)ドリームサポート沖縄	代表
10	玉井 栄良	真和志自治会長会連絡協議会	会長
11	長嶺 美佐子	元小学校校長	
12	宮城 哲哉	元市役所職員	

第30期監事名簿

任期:平成29年6月16日～平成31年度定時評議員会の終結の時まで

平成29年7月1日現在

	氏名	団体名	役職名
1	有銘 寛之	TKC有銘F.P.会計事務所	公認会計士税理士
2	仲田 洋子	学識経験者	元介護施設課長
3	諸見里 安秀	学識経験者	元市役所職員

第30期顧問名簿

任期:平成29年6月16日～平成31年度定時評議員会の終結の時まで

平成29年7月1日現在

	氏名	団体名	役職名
1	城間 幹子	那覇市	市長
2	仲里 政幸	社会福祉法人那覇市社会福祉協議会	前会長

第30期評議員名簿

任期:平成29年4月1日～平成33年度定時評議員会の終結の時まで

平成29年7月1日現在

	団体名	団体長	役職名
1	社会福祉法人立保育園那覇市園長会	仲田 房子	副会長
2	公益社団法人那覇市母子寡婦福祉会	平良 君代	会長
3	那覇市手をつなぐ育成会	知念 道之	会長
4	一般社団法人那覇市身体障害者福祉協会	宮城 愛子	常務理事
5	那覇保護区保護司会	兼次 政福	会長
6	社会福祉法人ゆうなの会特別養護老人ホーム大名	川崎 久男	事務局長
7	那覇市福祉部福祉政策課	野原 健一	副部長兼課長
8	那覇市民生委員児童委員連合会	東恩納 寛治	副会長
9	那覇市民生委員児童委員連合会	平良 順也	副会長
10	那覇市民生委員児童委員連合会	小笠原文子	理事
11	那覇市民生委員児童委員連合会	赤嶺 勝正	副会長
12	那覇市青少年健全育成市民会議	仲村渠 政秀	広報部長
13	一般社団法人沖縄県社会福祉士会 権利擁護センターばあとあな沖縄	石川 和徳	運営委員
14	那覇市協働によるまちづくり推進協議会	福村 亜矢子	事務局
15	那覇市福祉協力員	角屋 隆司	委員
16	那覇市協ボランティア市民活動センター運営委員長	島村 聡	委員長
17	真和志管内自治会連合会	田島 繁	副会長
18	那覇市宮住宅自治会	上原 幸吉	会長
19	首里管内自治会長連絡協議会	宮良 吉雄	会長
20	本庁管内自治会長会	前原 信達	会長
21	大名地域福祉推進会	川満 尚	会長
22	那覇青年会議所	淵辺 俊紀	理事長
23	那覇市教育委員会	森田 浩次	副部長
24	沖縄大学人文学部福祉文化学科	上地 武昭	教授
25	学識経験者	福治 貞子	



2017年度(平成29年度)

第2回生活支援サポーター養成講座 募集案内



◆生活支援サポーターはどんなことをするの？

高齢者の日常生活のなかで“ちょっとした困りごと”のお手伝いを、週1回程度行う身近な地域の支援活動です。

内容	30分程度で行なえる生活支援(活動手当 300円/1回)
	・ゴミ出し ・簡単な掃除 ・外出支援(散歩の同行など) ・買い物支援



自分の得意なものでサポートしたい!
シニアの方も活躍中

◆生活支援サポーター養成講座ではどんなことをするの？

- ・サポート活動をする上での、知識や技術を仲間と共に楽しく学べます!
- ・実際に活動する前に、制度の理解や介護についての基礎知識が学べます。

- 【養成講座】平成29年7月26日(水) 13:00～17:00
 - 【実施場所】那覇市総合福祉センター2階 大会議室 (那覇市金城3-5-4)
 - 【対象】18歳以上で、那覇市内で活動が可能な方。
 - 【定員】50名程度 ※定員になり次第締め切らせていただきます
 - 【受講料】無料
 - 【申し込み期間】平成29年6月12日(月)～平成29年7月25日(火)17時まで
- ※駐車場に限りがございます。公共交通機関をご利用ください。

《お問い合わせ・受講申し込み先》 那覇市社会福祉協議会 地域福祉課
TEL:098-857-7766 FAX:098-857-6052 (担当 神田・金城・仲程)

『那覇市障がい者相談支援事業』のご紹介

那覇市では平成29年4月から、新たな体制で障がい者相談支援事業を実施しております。市から委託された相談支援事業者が、障がい者・障がい児及びそのご家族等からの日常生活や社会生活を営むための相談に応じます(福祉サービスの利用援助、社会資源を活用するための支援、生活力を高めるための支援、権利擁護のために必要な援助、専門機関の紹介等)。

また、那覇市内の相談支援事業者へのサポート、地域の関係機関のネットワーク構築や課題の協議のために那覇市障がい者自立支援協議会の運営等を行います。

那覇市障がい者 生活支援センターゆいゆい

(福) 那覇市社会福祉協議会
那覇市金城3-5-4
TEL:098-891-8454

さぼーとせんたーい

(特非) わくわくの会
那覇市泊1-18-8
TEL:098-861-1187

地域生活支援センター Enjoy

(福) 若竹福祉会
浦添市前田1004-9
TEL:098-877-0552

相談支援事業所 ひかり

(医) 葦の会
那覇市首里石嶺町2-97-1
TEL:098-886-6688

那覇市地域 生活支援センターなんくる

(公社) 沖縄県精神保健福祉会連合会
那覇市長田1-24-27
TEL:098-836-6970



相談窓口のご案内

● ふれあい福祉相談室 (貸付に関する事等) ☎ 857-7780

生活上の心配ごと、悩みごと、どのようなことでも気軽に相談できる一般相談・司法書士相談があります。また、人権困りごと相談・行政相談を新設しています。秘密は堅く守ります。相談は無料です。

- ①生活福祉資金 低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者の属する世帯に対する資金貸付
- ②司法書士専門相談 毎月第2金曜日の14:00~16:00(予約制)
- ③弁護士相談 奇数月・第4金曜日の14:00~16:00(予約制)
- ④人権困りごと相談室 毎月第4金曜日の14:00~16:00
- ⑤定例行政相談所 毎月第3金曜日の10:00~12:00

● 那覇市障がい者生活支援センター「ゆいゆい」

☎ 891-8454
FAX857-6052

在宅で生活する障がい者が「自分らしく」暮らしていけるように支援をしています。

- 在宅福祉サービスの利用援助
- 社会資源を活用した支援
- 社会生活をたかめるための支援
- ピア(同じ仲間)サポート
- 障がい者居住サポート
- サービス利用計画の作成

● 日常生活自立支援事業 地域福祉権利擁護センター ☎ 857-4525

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が不十分で、在宅にて生活している方々を利用対象者としています。専門員が相談を受けて、それから契約を結びますと生活支援員がお手伝いします。

● ボランティア(活動保険・行事用保険)の問い合わせ ☎ 857-7766

ボランティア活動保険・ボランティア行事用保険は、ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや賠償責任を補償します。

● 居宅介護事業 ☎ 891-8236

安心して在宅生活が営めるように、家族、医療、介護保険サービス事業所等と連携を図ると共に、社会資源を活用しながら支援をおこないます。

● 通所介護事業 ☎ 859-8383 (デイサービスあしびなー)

利用者の方々が住み慣れた地域から通い、日々、生きがいのもてる暮らしを応援し、ご家族の身体的、精神的な負担を軽減します。

● 訪問介護事業 ☎ 859-8383 (ホームヘルプステーション わかば)

自宅に、介護福祉士やホームヘルパーなどの介護専門職が訪問し、入浴、排泄、食事等の介護など日常生活上の世話をするサービスです。



指定通所介護事業
デイサービスセンター あしびなー
～くらしゆたかに～

防ごう熱中症!!

夏の時期になりました。急な気温上昇によって、熱中症に十分気をつけなければいけません。特に7月～8月はさらなる注意が必要です。特に高齢者は熱中症になりやすいので要注意!!

高齢者は特に注意が必要です。

- ①体内の水分が不足しがちです。
- ②加齢により暑さや喉の渇きに鈍くなります。
- ③高齢者は体に熱がたまりやすく、負担が大きくなります。



熱中症は室内でも多く発生しています。夜も注意が必要です。

予防法メモ

- ・寝る前だからと水分を我慢せず、こまめな水分補給を心掛けましょう。汗をかいた時は、適度な塩分補給も必要です。
- ・暑さを感じなくても、部屋の見やすい場所に温度計を置き、温度が上がったらエアコンをつけるなど、常に注意しましょう。
- ・エアコンや扇風機が苦手な人は、温度設定に気を付けたり、風向きを調整するなど工夫してみましょう。調整の仕方が分からない人は、身近な人に相談しましょう。

募集中 生活支援員になりませんか (日常生活自立支援事業)

高齢者や障害のある方で自分で判断することが困難な方々の市役所や銀行での手続きや支払のお手伝いを行います。



お仕事の主な内容

具体的な活動は以下のようなものです。

- ・公共料金や病院代の支払いを本人と一緒に(または、代わりに)行う。
- ・役所や郵便局などで行う手続きの説明や、本人が行う手続きに付き添う。
- ・本人とのコミュニケーションを通じて、相談や要望を聞く。
- ・相談、要望に応じて、本人が自身で判断できるようにする。

- 月数回から。
- 毎回1時間～2時間程度のお手伝いです。
- 社会福祉協議会の職員が活動のサポートをします。
- 資格等は特に必要ありません。



寄付者ご芳名

(平成29年2月21日～平成29年6月20日までの寄附金状況) 敬称省略

寄附金総額 1,877,726円

一般寄付

・ナザレ幼稚園・高安保志・安里昌利・宮里 清・本願寺沖繩別院・JAおきなわ小禄支店女性部・沖縄県農業協同組合小禄支店・高山花子・(株)いなせ典礼・(株)山興産・マンゴカフェ 木の葉・沖縄県酒造協同組合・上山中学校区成人式実行委員会・第8回チャリティカラオケ実行委員会・沖縄県農業協同組合真和志支店・金城清子・税理士法人ビジネスパートナー・美空ひばりを歌う友の会・かりゆし長寿大学19期生絵画サークル・呉屋良明・翁長芳子・イオン那覇同友会・サザン会・那覇市環境部廃棄物対策課・那覇市環境部廃棄物対策課・(医)グレイン脳外科クリニック・匿名



イオン那覇 同友会より
寄附金贈呈(写真/左)

香典返し

仲里文江(故夫 正満)

平成28年4月1日～平成29年3月31日

寄附金総額 6,016,603円

これからの社協及び関連行事

7月	7月 3日(月) 7月 7日(金) 7月17日(火) 7月27日(木)	「なは社協だよりNo137」発行 なはの日の清掃 海の日 那覇市総合福祉センター消防訓練
8月	8月 1日(火) 8月 5日(土) 8月11日(金) 8月24日(木) 8月27日(日) 8月31日(木)～9月2日(土)	「那覇市ボランティア・市民活動センター情報」8月発行 3世代交流夕涼み会(総合福祉センター) 山の日 那覇市総合福祉センター AED講習会 24時間テレビ「愛は地球を救う」チャリティ街頭募金(予定) 巨大めいろ(金城児童館)
9月	9月 1日(金) 9月 3日(日) 9月 5日(火) 9月18日(月) 9月23日(土) 9月27日(水)～29日(金)	「なは社協だよりNo138」発行 旧盆(ウンケー) 旧盆(ウークイ) 敬老の日(識名・小禄老人福祉センター・金城老人憩いの家は開館) 秋分の日 金城・小禄老人福祉センター チャーがんじゅう展(イオン那覇店)
10月	10月1日(日) 10月2日(月) 10月9日(月)	赤い羽根共同募金始発式 「那覇市ボランティア・市民活動センター情報10月」発行 体育の日

社会福祉法の改正に伴い、理事、評議員会の開催日程が6月に変更されました。併せて、事業報告・決算並びに、事業計画・予算の報告も7月発行の「なは社協だよりNo137」に掲載となりました。次号の「なは社協だよりNo138」は、事業計画の通り9月発行の予定です。